

第171回 教育研究評議会要録

日時 平成31年4月17日(水) 13時00分～14時30分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長, 藤原理事, 小路田理事, 小川理事, 井深理事, 成瀬副学長, 三成副学長,
吉村副学長, 春本副学長, 久保副学長, 野村文学部長, 渡邊理学部長, 黒子生活環境学部長,
高田人間文化研究科長, 石崎, 中山(満), 上江洩, 棚瀬, 中山(徹), 林井, 柳澤各評議員
列席者 酒居監事, 福田監事, 岩阪事務局次長/総務・企画課長, 桑原国際課長, 川村研究協力課長,
林財務課長, 清水施設企画課長, 鱸学務課長, 西村学生生活課課長, 仲入試課長,
横井学術情報課長

議事に先立ち,

- (1) 学長から, 久保教授の学長補佐の任を解き, 副学長(改革推進担当)に任命し, 任期为平成31年4月1日から平成33年3月31日までとする事の報告があった。なお, 評議員は任期どおり務めて頂くとの確認があった。
- (2) 構成員の交代に伴い, 学長から新任構成員の紹介があり, 引き続いて, 井深理事から新任列席課長の紹介があった。
- (3) 学長から, 資料により平成31年度学内役職者等及び本学の運営組織における教育研究評議会の役割等について確認があった。
- (4) 前回の記録の確認。

I 審議事項

1. 奈良教育大学との連携について

学長から, 附属学校のあり方については当初, 法人統合後に検討する予定であったが, 重要であると判断し検討を始めたこと, 大学入学者選抜の公正確保等に関する有識者会議の審議経過で大学入試での属性を理由とする差別禁止の方針が示されているとおり, 奈良教育大学との女子に限定した共同教育課程の設置から方向性を変更し, 奈良教育大学と法人統合した後に, 単独で工学部を設置する方向で協議をしていること, 法人統合を平成33年10月または平成34年4月, 工学部設置を平成34年4月で検討しているが文部科学省と調整する必要があるとの説明があった。

三成副学長から, 法人統合は決定事項ではなく検討段階という認識で間違いないかの質問及び, 決定までの今後のスケジュールについて質問があり, 学長から検討段階であるが, 決定が遅くなることによるデメリットを鑑みるとできる限り早く決めたい, 法人統合と工学部設置は性質が異なるので切り離して検討していくこともありうる, 法人統合については経営マターのため, 評議会では意見聴取にとどめ, 経営協議会で審議し, 最終的には役員会で決定するとの考えが示された。

棚瀬評議員から, 本学単独で設置する工学部構想は7月の全学説明会で説明された内容をベースに検討を進めるという理解で間違いないかの質問があり, 学長からその方向で検討しているとの説明があった。また, 法人統合後の理事長選出に関し質問があり, 学長から両方で協議会を設置し詳細を詰めていくことになるとの説明があった。

2. 奈良県内文部科学省4機関における連携・協力に関する協定書について

学長から, 資料1により説明があり, 審議の結果, これを承認した。

3. 奈良女子大学における受動喫煙防止対策の基本方針の一部改正について

井深理事から, 資料2により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 役員会へ付議することとした。

4. 大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所と国立大学法人奈良女子大学との学術交流・協力に関する基本協定書について

研究協力課長から、資料3により協定締結の必要理由及び協定書の内容について説明があり、原案のとおり承認した。

5. 学長選考会議委員の選出について

学長から、資料4により国立大学法人奈良女子大学学長選考会議規程に基づき教育研究評議会から選出される学長選考会議委員4名について、平成31年3月31日で任期満了のため、引き続き学部長、人間文化研究科長に委員をお願いしたいとの提案があった。

高田人間文化研究科長から、委員の多様性を保持するには、学長が任命権を持つ学部長・研究科長ではなく各部局選出の評議員から選んだほうがいいのではないかと意見があった。

野村文学部長から、以前より各部局選出の評議員から選ぶのがよいとの意見が出ているとの意見があった。

柳澤評議員から、学部長及び研究科長は企画推進会議や部局長会議に出席しており学長の業務に一定の範囲で関わっているので、学長選考会議の独立性を担保するためには各部局選出の評議員から選出するのが望ましい、全体のバランスを考え各部局から1名ずつ出してもらうのはいかがかと意見があった。

小路田理事から、学長選考会議委員は部局の代表ではなく、全学の業務を担っている評議会の代表という考え方なので、部局のバランスを考慮する必要はないとの意見があった。

意見交換の結果、学長から、各部局選出の評議員のみを候補とするのではなく、学部長を含め全ての候補者を対象に選挙してはどうかとの提案あり、審議の結果、これを了承した。

投票による得票数の結果、上位4名である野村文学部長、渡邊理学部長、黒子生活環境学部長、高田人間文化研究科長を選出した。

野村 鮎子 学 部 長 平成31年4月1日～33年3月31日

渡邊 久樹 理 学 部 長 平成31年4月1日～33年3月31日

黒子 弘道 生活環境学部長 平成31年4月1日～33年3月31日

高田 将志 人間文化研究科長 平成31年4月1日～33年3月31日

*任期は、学長選考会議規程第3条により教育研究評議会評議員の任期と同一期間

6. その他

II 報告事項

1. 第62回経営協議会並びに第240回及び第241回役員会について

学長から、第62回経営協議会及び第240回及び第241回役員会の審議概要について、資料5-1から5-3により報告があった。

2. 平成31年度計画について

小路田理事から、資料6により文部科学省への提出内容の報告があり、今年度は中間評価対象年度なので確実な実行について各部局への依頼があった。また、計画した内容については、着実に実行するよう確認があった。

3. 設置計画履行状況等調査の結果について

小川理事から、設置計画履行状況等調査の結果に関し、平成30年度に提出した人間文化研究科博士前期課程5専攻及び、博士後期課程生活工学共同専攻についていずれも指摘事項はなかったとの報告があった。

4. 奈良女子大学国際空間 CotoQue について

吉村副学長から、資料7により報告があった。

5. 各室等からの報告について

特になし

6. その他

(1) 創立百十周年記念式典・講演会・祝賀会について

藤原理事から、記念式典・講演会への現時点での参加者数の報告があり、学生への周知の協力依頼があった。また、円滑な受付対応のため、学内教職員の祝賀会会費を当日払いから事前払いに変更するとの説明があった。

(2) 平成31年度会議日程について

学長から、5月の役員会を5月29日（水）に変更したことの報告があった。

以上